

2025 年 7 月 11 日

八戸中央青果(株)による香港への青果物の輸出について ～キャベツ (3回目)、大根 (初) ～

東北経済連合会（会長：増子次郎 以下「東経連」）では、九州の地域商社「九州農水産物直販株式会社（以下「九直」）」と生産者を結び付け、東北・新潟の農林水産物・食品の輸出拡大に取り組んでいます。本年度も、九直を通じて八戸中央青果株式会社（青森県八戸市、以下「八戸中央青果」）のキャベツが出荷されることになりました。また、今年には新たに大根が出荷される運びとなりましたので、お知らせします。

輸出されるのは、岩手県産のキャベツと青森県産の大根で、キャベツについては7月から10月にかけて合計約4,000ケース（昨年は4,120ケース）、大根については試験的に2ケースを出荷する予定です。

出荷された青果物は、香港大手小売りグループである香港デイルーファーム・グループの店舗で販売されます。

香港では日本産キャベツが人気で引き合いも多くありますが、東北においては、集荷力と検品作業（害虫駆除等）の課題から、なかなか輸出までには至っていませんでした。しかし、「情熱市場」を企業理念に掲げる八戸中央青果が、その産地集荷力を活かすとともに、検品作業体制を整えることで、まとまった数量を継続的に輸出することが可能となりました。

香港からはキャベツの輸出を契機に、他の青果物に対しても引き合いが寄せられるようになり、その中から今年は、新たに青森県産の大根が出荷されることとなりました。初便としては2ケースですが、売れ行き等を見て、さらなる出荷ができないか交渉を続けております。

なお、今回のキャベツと大根のほか、昨年出荷した青森県産のナガイモについても、昨年同様出荷できないか、現在調整を続けているところです。

今回の輸出にあたり、八戸中央青果は「キャベツから始まった商売をさらに大きくしていきたい。今年は試験的に大根も出せることになった。こちらからも様々な商品を提案していきたい」と、さらなる輸出に向けての決意を新たにしています。

また、九直関係者は「日本産のキャベツの他、ナガイモについても引き合いが強いが、長さなどの規格の点で現在調整中となっている。大根を含め、今後も数量を増やしていきたい」と述べており、また、現地バイヤーも「日本産の青果物の需要は高く、日本各地からリレー出荷をお願いしている」と話すなど、今年、そして来年に向けて、さらなる輸出拡大に期待がかかります。

東経連では引き続き魅力ある東北・新潟製品の輸出拡大に取り組み、ビジョン「わきたつ東北」実現の加速化につなげてまいりたいと考えております。

以上



(7月1日の出荷の様子)

【本件問い合わせ担当】

(一社)東北経済連合会 食・観光グループ 山添 電話：022-397-6528

(添付資料)

1 案件の概要

品目	キャベツ、大根及びナガイモ
出荷者	八戸中央青果 株式会社
輸出商社	九州農水産物直販 株式会社
輸出先	香港 Dairy Farm グループ
ロット 種類 スケジュール	<p>【岩手県産キャベツ】 第1回出荷 7月1日(火) 200 ケース 以降概ね毎週火曜日出荷 150~200 ケース</p> <p>10月末までの予定で、合計約 4,000 ケースとなる予定 (8玉/1ケース)</p> <p>【青森県産大根】 上記キャベツの第1回出荷にあわせ、試験的に2ケースを出荷 今後、売れ行き等の状況をみて、さらに出荷できるよう交渉中</p> <p>【青森県産ナガイモ】 今後、出荷できるよう規格等で交渉中</p>

2 東北経済連合会のこれまでの輸出支援実績について

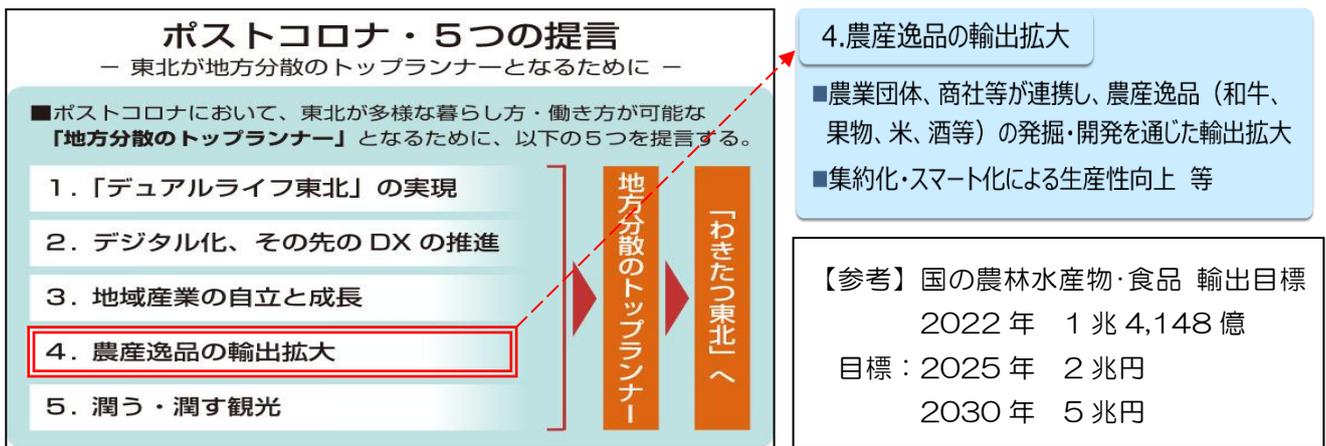
産地	品目	輸出先	年月	量
青森県	モモ	香港	2021年8月	96ケース(5~6玉/ケース)
			2022年8月~9月	合計384ケース(5~6玉/ケース)
	鶏卵		2022年3月	608ケース(15パック/ケース)
	キャベツ		2023年7月	100ケース(8玉/ケース)
			2024年9月~11月	2,430ケース(8玉/ケース)
	メロン		2024年8月	160ケース(5~6玉/ケース)
	ナガイモ		2024年8月~3月	1,440ケース(400g×10パック/ケース)
大根	2025年7月	2ケース(10本/ケース)		
岩手県	キャベツ	香港	2023年7月~10月	1,100ケース(8玉/ケース)
			2024年6月~9月	1,870ケース(8玉/ケース)
			2025年7月~10月	約4,000ケース(8玉/ケース)
	米		2023年10月	432ケース(10袋/ケース、2Kg/袋)
			2024年6月	500ケース(10袋/ケース、2Kg/袋)
			2024年12月	100ケース(10袋/ケース、2Kg/袋)
宮城県	サツマイモ	香港	2021年2月	300ケース(10kg/ケース)
			2021年4月	300ケース(10kg/ケース)
			2021年11月~2022年3月	約120トン(10kg/ケース、約12,000ケース)
			2022年11月~2023年3月	約100トン(10kg/ケース、約10,000ケース)
			2023年11月~2024年3月	約30トン(10Kg/ケース、約3,000ケース)
	2024年12月~	約40トン(10Kg/ケース、約4,000ケース)		
	魚肉ソーセージ	マレーシア	2021年10月	22ケース(40パック/ケース)
			2022年9月	22ケース(40パック/ケース)
			2023年9月	8ケース(40パック/ケース)
	キャベツ	香港	2021年11月	630ケース(8玉/ケース)
	仙台牛	台湾	2023年7月~2025年3月	12頭/月
2025年4月			14頭/月	
2025年5月~			18頭/月	
秋田県	枝豆	香港	2022年9月	50ケース(20袋/ケース)
山形県	メロン	香港	2019年7月	300ケース(5玉/ケース)
			2021年7月	48ケース(5玉/ケース)
			2022年7月~8月	合計500ケース(4~6玉/ケース)
			2023年7月	合計480ケース(4~6玉/ケース)
			2024年7月	合計610ケース(5~6玉/ケース)
	2025年7月~8月	合計530ケース(5玉/ケース)		
	モモ	シンガポール	2024年8月~9月	合計100ケース(12~16玉/ケース、5Kg/ケース)
啓翁桜	香港	2023年2~3月	合計245ケース(20束/ケース)	
新潟県	メロン	香港	2023年7月	50ケース(4玉/ケース)
			2024年7月	200ケース(4玉/ケース)
			2025年6月~7月	250ケース(4玉/ケース)

3 東北経済連合会の輸出事業の概要

【輸出事業の位置付け】

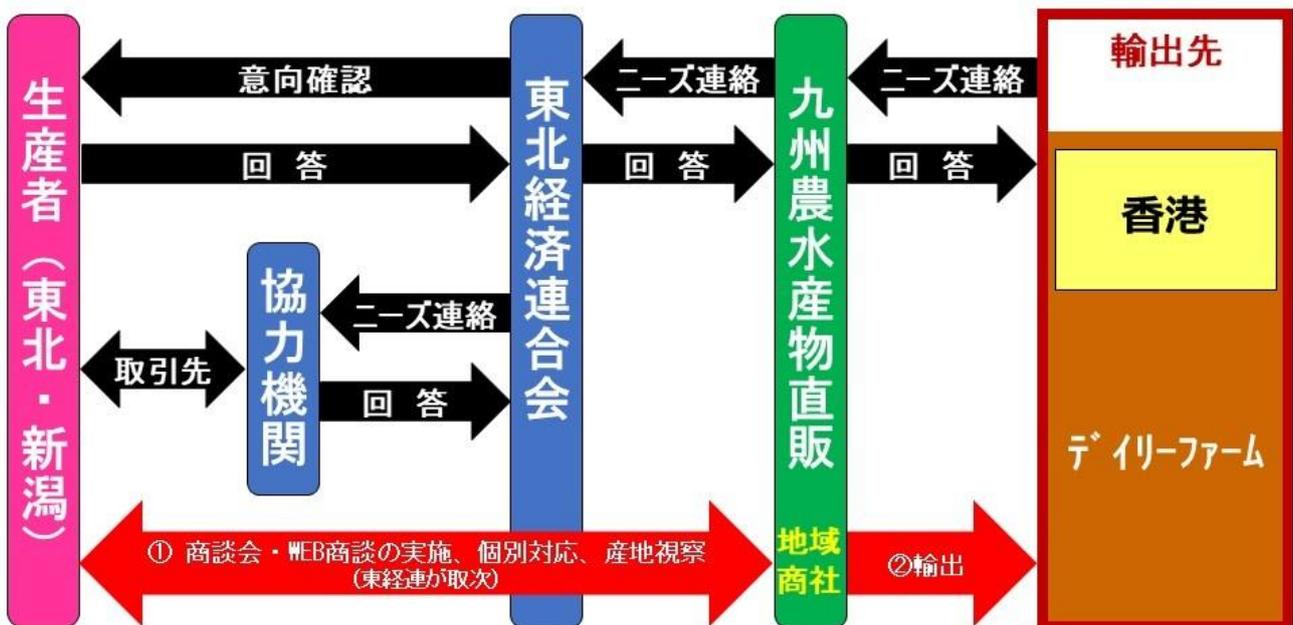
・東北経済連合会では、「ポストコロナ・5つの提言」に掲げる「提言4. 農産逸品の輸出拡大」に向けて取り組みを展開している。

・輸出拡大は、人口減少下で地域経済の縮小が見込まれる中、東北・新潟の基幹産業の一つである第一次産業の活性化により、所得の向上や雇用の確保を図り、地域経済の活性化に資するものと考えている。



【事業スキーム図】

【東北と九州が連携した輸出事業スキーム】



東経連の役割

- ・海外のニーズに対して、東北・新潟域内の生産者・商品の選定と紹介
- ・東北・新潟域内生産者と九州農水産物直販との商談の設定

【参考1】九州農水産物直販株式会社について

会 社 名	九州農水産物直販株式会社
代 表 者	小田 保（元九州経済連合会 農林水産部長）
所 在 地	福岡市博多区博多駅前2丁目12番10号
設 立	2015年8月28日
資 本 金	1,890万円
業 務 内 容	農水畜産物の輸出入ほか
株 主	JA宮崎経済連、麻生、九州電力、九電工、エスジーグリーンハウス、日本通運、三井住友信託銀行

【参考2】八戸中央青果株式会社について

名 称	八戸中央青果株式会社
代 表 者	横町 芳隆
所 在 地	青森県八戸市大字河原木字神才7-4
設 立	1977年7月25日
資 本 金	1億円
業 務 内 容	青果物及び、その加工品等の卸売業
会 社 概 要	青森県八戸市で昭和7年に創業し、「地域農業の振興と地域住民への青果物の安定供給」という創業理念を基に、生産者の所得向上のために「情熱市場」を体現する八戸中央青果は、県内随一の青果物流会社として、生産者が真心こめて育てた新鮮で安全な旬の青果物を「生産者と消費者の掛け橋」となって、すべての消費者に向け、安定的に供給しています。旬の時期に出荷された生産物を、新鮮なまま食卓にお届けする「旬産旬消」を基本理念に掲げながら、今日も食の未来を見つめつづけ、地域の豊かな食生活に貢献しています。

【参考3】香港 Dairy Farm グループについて

会 社 名	Dairy Farm International Holdings（本社：香港）
主 要 株 主	Jardine Matheson Holdings
創 業 年	1886年
店 舗 数	約3兆6千億円
うちスーパーマーケット	約10,000店（うち、食品部門約5,500店舗）
業 種	約1,700店舗（うち、香港約300店舗）
	小売業